

沖野忠雄と明治改修

明治時代に始まった近代河川改修事業は「明治改修」と一括されていますが、これらの改修により日本の河川の姿は一変しました。それまで乱雑に広・狭となったり、あるところでは広大な無堤地帯を有していた河道が、整然と整備されました。今日、我々が目にする河川は、この「明治改修」により築かれてきたのです。

本書は、この事業を牽引した沖野忠雄（土木学会第2代会長）に着目しながら、明治改修の全体像を現すことを目的としています。明治改修とは、西欧から導入した近代科学技術の下に、大規模な築堤を基として治水を目的に整備していった河川改修と言えますが、本書ではその社会的背景、技術的な課題について、そこで活躍した沖野忠雄をはじめとする明治の若き技術者達にも注目しながら、明らかにしています。

なお本書は、2004年に土木学会から刊行された『古市公威とその時代』に引き続いて研究を進めたもので、これにより、明治から昭和初期に至る「近代第一期国土づくり」を網羅した内容となっています。

■編集：土木図書館委員会 沖野忠雄研究資料調査小委員会
(委員長 松浦茂樹)

■平成22年3月発行，菊判，716ページ，上製本

■定価：5,250円（本体5,000円＋税5%）

■会員特価：4,730円 ■送料：590円

ISBN 978-4-8106-0655-3

==== FAX または HP にて、購入お申込み受付中！ ====

沖野忠雄と盟友達

前列左より

中原貞三郎、小柴保人、沖野忠雄、原田貞介、岡崎芳樹

後列左より

渡辺六郎、近藤仙太郎、清水元吾郎、市瀬恭次郎



淀川・瀬田洗堰

沖野忠雄と 明治改修

土木学会

構成

巻頭口絵 沖野忠雄と明治改修

第Ⅰ編 河川行政・制度の進展

明治8年（1875）堤防法案議論を出発点に河川改修思想の変遷を重要な課題として分析し、最終的な転換が明治30年代後半にあったことを明らかにする。

第Ⅱ編 河川事業—明治改修—の進展

淀川、利根川、信濃川など代表的な「明治改修」21河川について個別に詳細に分析するとともに、明治初頭に行われた二つの事業についても述べる。

第Ⅲ編 明治改修の評価

第Ⅱ編で行った個別改修を踏まえ、計画論および施工技術論から「明治改修」の評価を行う。

第Ⅳ編 沖野忠雄の経歴と河川との係わり

明治改修における技術者の代表として沖野忠雄に焦点をあて、沖野の活躍を考察する。

年表・索引

●お申込み・お問合せ先

(社)土木学会・出版事業課

TEL 03-3355-3445/FAX 03-5379-2769

<http://www.jsce.or.jp/publication/>

丸善(株)・出版事業部

TEL 03-3272-0521 FAX 03-3272-0693

FAX:03-5379-2769 送信日: 年 月 日
土木学会 図書・試験器類等 購入注文書

フリガナ			会員区分 (○印)	・個人・名誉・フェロー・学生会員 ・法人会員・特別会員 ・非会員	※注 会員番号														
申込者氏名																			
送付先の住所	〒 ー																		
送付先機関名											送付先部署名								
電話番号											請求書に記載する宛名								

※注 土木学会会員の方は、**会員区分, 会員番号を必ずご記入ください**。無記入の場合は会員サービスの適用外となりますのでご注意ください。

書名	定価	会員特価	注文冊数
【P655】 沖野忠雄と明治改修	5,250円	4,730円	冊



淀川改良計画



淀川・毛馬洗堰

通信欄
